

魅せる群馬の文化発信プランー第2次群馬県文化振興指針ー2018年度～2022年度 評価シート一覧

プロジェクト名	主な事業	所属	成果(結果)を示す目標・指標	単位	2018目標	2018実績	担当課評価	2019目標	2018決算額(千円)	2018事業結果	来年度事業評価	事業の目標	事業のアウトカム(成果)	事業のアウトプット(結果)	基本理念	審議会評価	審議会意見		
<b>01 群馬の特色ある文化の活用と発信</b>																			
<b>(1) 群馬交響楽団の活用と発信</b>																			
1	群馬交響楽団支援	文化振興課	① 定期演奏会平均入場者数	人	1,480	1,457	C 成果が認められる	1,500	312,513	・定期演奏会を年間10回開催し、14,565人の鑑賞者があった。 ・移動音楽教室、高校音楽教室を合計で100回開催し、350校の児童・生徒が鑑賞した。 ・東京公演を2回開催し、1,924人の鑑賞者があった。	5 継続(見直しあり)	地域に根ざした楽団として、子どもたちをはじめ県民にオーケストラ演奏の素晴らしさや感動を伝え、豊かな心を涵養するとともに、日本を代表する楽団として、県内外での演奏会や情報発信を通じて、本県のイメージアップを図る。	県民が質の高いオーケストラ演奏を身近に鑑賞できる環境を整備する。	一流の指揮者、ソリストが出演する定期演奏会の開催	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備	C			
			② 移動音楽教室及び高校音楽教室の鑑賞校数	校	—	350	C 成果が認められる	—					子どもたちに本物のオーケストラ演奏に触れる機会を提供する。	移動音楽教室、高校音楽教室の開催					
			③ 東京公演の鑑賞者数	人	2,000	1,924	C 成果が認められる	2,050					トップクラスの地方オーケストラとして、活動範囲を県外に広げる。	東京公演の開催					
2	群馬県戦略的文化芸術創造事業	文化振興課	① 参加者数	人	2,800	1,725	C 成果が認められる	9,440	33,036	・高い目標設定をしており、目標を達成することはできなかったが、参加者アンケートによると満足度の高い事業を実施できたことや3か年事業の1年目ということとを考慮すると成果が認められると判断。 ・群馬交響楽団と「富岡製糸場」「臨江閣」を組み合わせることで、それぞれの認知度と評価を高めることができた。また、実行委員会形式を取ることで、それぞれが主体として当事者意識を持って取り組むことができた。 ・今後の課題としては、国内外から来県してもらうために有効な情報発信と、誘客につながるより魅力的なコンテンツづくりが求められる。 ・本事業は令和2年度を最終年度とした3か年計画で文化庁へ補助金申請しており、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年度を最終年度と位置づけ、3年の間に制作したコンテンツを活用し、「Gメッセ群馬」で集大成として事業を実施することとしている。	3 拡充	群馬交響楽団、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」及び県内に所在する文化施設等は、それ自体が単体で十分な歴史的・文化的価値をもつものであるが、これら多様な文化資産を組み合わせることで、これまでにない新たな魅力を生み出し、交流人口の増加につながる。郷土に対する県民の愛着及び誇りの醸成を図る。	会場の規模に合わせた参加者数の確保	群馬の特色ある文化の磨き上げと、最新技術などを組み合わせて誘客につながる魅力的な事業を展開する。	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備、5 文化資産の保存及び活用、6 情報発信及び文化交流の促進	C			
			② 参加者数(外国人)	人	140	19	D 成果があまり認められない	470					事業の県内外への情報発信だけでなく、県内各地への誘客を通じて波及的な経済活性化を目指す。	国内外から来県してもらうために、各事業について有効な情報発信を行い、誘客につながる広報を行う。					
			③ 経済波及効果	千円	70,000	47,566	C 成果が認められる	227,000					地域住民や地域の芸・産学官と連携、協働し、持続的な文化経済活動の実現を目指す。	コンテンツづくりをとおして、将来にわたり持続的に各分野が協働できる枠組みづくりを行う。					
<b>(2) 「上毛かるた」の活用と発信</b>																			
3	上毛かるた活用事業	文化振興課	① 上毛かるたの販売冊数	冊	19,000	15,689	C 成果が認められる	19,000	10,300	・「上毛かるた」の発行・販売並びに『「上毛かるた」で見つける群馬のすがた(副読本)』及び『「上毛かるた」ゆかりの地文化めぐり(ガイドマップ)』の販売を行った。【副読本:1,725冊、ガイドマップ:1,358冊】また、上毛かるたの著作権利用申請について許諾を行った。 ・上毛かるた競技大会を県教育委員会及び(公財)子ども会育成連合会と共催した。 ・さらなる上毛かるたの活用を図るため、英語版上毛かるたを制作する。	4 継続	上毛かるたを通じて、歴史と先人たちの思いを子どもたちをはじめ広く県民に知ってもらい、その活用を図ることにより、郷土への愛着や群馬の歴史や文化に対する誇りを醸成する。	上毛かるたをいつでも入手できる。	上毛かるたの発行、販売	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備	C			
			② 上毛かるた副読本及びガイドマップ販売冊数	冊	—	3,083	C 成果が認められる	—					上毛かるたの内容を理解する。	上毛かるたに込められた史跡や人物などについて再認識を促す副読本及びガイドマップの発行、販売					
			③ 上毛かるた利用許諾件数	件	(2022) 150	101	C 成果が認められる	(2022) 150					上毛かるたを活用することができる。	上毛かるたの利用許諾					
<b>(3) 群馬の食文化の活用と発信/群馬の温泉文化の活用と発信</b>																			
4	群馬の魅力発信	広報課	① フェイスブック記事「いいね！」数	件	2,200	1,817	C 成果が認められる	2,500	1,417	「おっぴりこみプロジェクト」参加店舗によるスタンプラリーを実施し、店舗の情報やスタンプラリーに参加された方の感想をフェイスブックで発信。また、マップ「おっぴりこみ大図鑑」を改訂するとともに、一般の方から寄せられた家庭のレシピをウェブサイト「クックパッド」に掲載し、郷土食としてPRした。	4 継続	本県の郷土食である「おっぴりこみ」を通じて、本県の魅力を発信しイメージアップを図る。	おっぴりこみに関する情報発信の強化	おっぴりこみプロジェクト公式フェイスブックでの発信	4 文化の継承及び発展を担う人材・団体の育成	C			
		ぐんまブランド推進課	② ぐんま・すき焼きアクション賛同企業・団体の登録数	社	210	420	A 成果が大いに認められる	210	11,000				・2018年11月25日745人の県民の参加により、オールぐんまdeすき焼きまつりにて、「1時間で最も多く提供されたすき焼き」でギネス世界記録を達成した。 ・引き続き、県産農畜産物の魅力の結晶であるすき焼きを全国に向けてPRする。	すき焼きの食材を全て県産食材でまかなえるすき焼き自給率100%の県として、行政だけではなく、県民と一緒にすき焼きを通じた県産農畜産物のPRをすることにより、「ぐんまのすき焼き」の定着による県産農畜産物の魅力の理解を図る。				ぐんま・すき焼きアクション(群馬県産農畜産物の魅力)の理解	ぐんま・すき焼きアクション賛同企業・団体の募集
		文化振興課	③	—	—	—	—	—	—				—	古くから受け継がれてきた湯治の歴史や祭りなど、温泉文化を魅力的な観光資源として活用するとともに、その価値を県内外へ発信する。				—	—

魅せる群馬の文化発信プランー第2次群馬県文化振興指針ー2018年度～2022年度 評価シートー覧

プロジェクト名	主な事業	所属	成果(結果)を示す目標・指標	単位	2018目標	2018実績	担当課評価	2019目標	2018決算額(千円)	2018事業結果	来年度事業評価	事業の目標	事業のアウトカム(成果)	事業のアウトプット(結果)	基本理念	審議会評価	審議会意見
<b>02 東国文化の魅力発信</b>																	
<b>(1) 東国文化の魅力発信</b>																	
5	東国文化周知事業	文化振興課	① 中学校の歴史的分野の授業において、東国文化副読本を活用した学校の割合	%	93.0	97.0	B 成果がかなり認められる	100.0	26,373	市町村と連携した「群馬HANIー1グランプリ」や「群馬古墳フェスタ」の開催、中学1年生向けの「東国文化副読本」の配布、観光部局と連携した歴史文化遺産ツアー造成等を行った。群馬古墳フェスタ:約14,000人、群馬HANIー1グランプリ投票総数:59,261票、歴史文化遺産ツアー(民間旅行会社):10回	4 継続	東国文化の中心地であり、東日本最大の古墳大国である本県が誇る歴史文化遺産についての周知を進め、再認識を促すとともに、観光振興やイメージアップ等での活用を図る。	多くの県民が本県の歴史文化遺産への理解を深める。	中学校での「東国文化副読本」活用による学習支援	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備/5 文化資産の保存及び活用/6 情報の発信及び文化交流の促進	B	
			② 東国文化の認知度	%	73.2	68.2	C 成果が認められる	80.0					古墳や遺跡、歴史系博物館を訪れる機会が増加する。	古墳や遺跡を会場としたイベントの開催			
			③	-	-	-	-	-					県外在住者が古墳や遺跡への来訪を目的に来県する。	観光DMOと連携した誘客促進			
<b>(2) 世界の記憶「上野三碑」の魅力発信</b>																	
6	「世界の記憶」上野三碑周知事業	文化振興課	① 上野三碑のユネスコ「世界の記憶」登録	-	-	登録(2017年度)	A 成果が大いに認められる	-	5,000	H30年11月24日に「世界の記憶」登録1周年記念式典を開催するとともに、登録までの経緯をまとめた記録集を発行した。また、上野三碑の価値や魅力を広く県民に知ってもらうため、県内3箇所で開催した。	2 縮小・一部廃止・統合	ユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑の価値や魅力の周知を進め、観光振興やイメージアップ等での活用を図る。	県外での上野三碑の認知度が高まる。	各種広報媒体を活用した県内外への周知	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備/5 文化資産の保存及び活用/6 情報の発信及び文化交流の促進	C	・東国文化を広めるため、副読本を全戸配布するのがよいと思う。 ・事業の継続も大事だが、常に認知度が本当にあるのかと考え続けていかなければならない。 ・もっとうまく古墳の魅力をわかってもらおう工夫ができないか。
			② 上野三碑一般公開来場者数	人	800	743	C 成果が認められる	800					上野三碑を訪れる機会が増加する。	県内歴史文化遺産と連携したスタンプラリーの実施			
			③	-	-	-	-	-					多くの県民が上野三碑の世界的な価値や魅力についての理解を深める。	シンポジウムや講演会の開催			
<b>(3) 「偲ぶ毛の国」群馬の魅力発信</b>																	
7	史跡上野国分寺跡整備	文化財保護課	① 報告書等の作成	-	-	保存活用計画策定	C 成果が認められる	整備基本計画準備	4,589	保存活用計画の策定・追加の発掘調査(東門外側の溝を確認)	4 継続	本県を代表する史跡である上野国分寺跡について、発掘調査のデータを元に、わかりやすい整備を行い、歴史的価値を磨き上げ、全国に情報発信してその価値を広めるとともに、群馬のイメージアップを図り、地域作りや観光振興にもつなげる。	わかりやすい史跡整備を、計画的に実施する。	予算を計画的に確保する。	5 文化資産の保存及び活用		
			②	-	-	-	-	-					歴史的価値を磨き上げるため、発掘調査を実施して、歴史的根拠を明確にする。	調査報告書を作成し、歴史的価値を明確にする。			
			③	-	-	-	-	-					史跡の価値を内外に情報発信し、観光振興を図る。	発掘調査現地説明会や講演会を実施して、歴史的価値の普及啓発に努める。			
8	文化財保存事業費補助特別枠	文化財保護課	① 補助事業件数	件	19	17	B 成果がかなり認められる	20	58,867	国指定文化財補助:17件	4 継続	全国に誇りうる国指定文化財の歴史的価値を磨き上げ、その価値と魅力を情報発信し、群馬のイメージアップを図るとともに、地域作り、観光振興にもつなげていく。	国指定文化財を良好な状態で保存し、活用を図るため、所有者(市町村・法人・個人)が実施する保存修理等の事業を補助する。	予算を計画的に確保する。	5 文化資産の保存及び活用		
			②	-	-	-	-	-					文化財の保存・修理・整備事業に積極的に補助するとともに、修理・整備方法等について指導助言を行う。	計画的な修理・整備事業が可能となるよう、文化庁や地元市町村、所有者等としっかり連携する。			

魅せる群馬の文化発信プランー第2次群馬県文化振興指針ー2018年度～2022年度 評価シート一覧

プロジェクト名	主な事業	所属	成果(結果)を示す目標・指標	単位	2018目標	2018実績	担当課評価	2019目標	2018決算額(千円)	2018事業結果	来年度事業評価	事業の目標	事業のアウトカム(成果)	事業のアウトプット(結果)	基本理念	審議会評価	審議会意見
	9 古墳・金井東裏遺跡情報発信事業	文化財保護課	① 冊子の累計販売数 a:群馬県古墳総覧 b:ぐんま古墳探訪	冊	a:1,000 b:1,500	a:1,200 b:2,000	A 成果が大いに認められる	a:400 b:1,500	887	調査成果の公開・活用に向け、古墳情報データベースとスマートフォン用アプリを作成し、アプリを公開した。また、平成29年に刊行した『群馬県古墳総覧』、『ぐんま古墳探訪』の両冊子について、一般販売用の増刷を行った。	4 継続	学校教育への働きかけや、展示会や冊子等で古代東国の文化的中心であった群馬の歴史や文化の価値を再認識し、郷土に対する誇りの形成や、群馬県の知名度向上につなげる。	群馬の古墳の価値を理解してもらう。	群馬県古墳総覧・ぐんま古墳探訪を発行、販売	4 文化の継承及び発展を担う人材・団体の育成 6 情報の発信及び文化交流の促進	B	
			②	-	-	-	-	-					群馬の古墳を来訪してもらう。	スマートフォン用アプリを公開・運営。			
			③	-	-	-	-	-					古墳学習を取り入れた小学校授業を支援する。	古墳学習プログラムを作成し、県内小学校に配布する。			
	10 観音山古墳保護管理運営	文化財保護課	① 見学者数	人	15,000	11,994	C 成果が認められる	15,000	4,308	歴史博物館と連携して、見学者の増加を図っていく必要がある。関越道からのアクセスがスムーズであり、東京等県外からの小学校の途中見学地としての利用が見込まれる。	4 継続	史跡観音山古墳の歴史的価値を学校教育や生涯学習等を通して県民に認識してもらい、郷土に対する誇りや愛着の育成を図る。また、県外にも情報発信し、価値を広めるとともに、群馬のイメージアップを図り、地域作りや観光振興につなげる。	史跡の環境整備・維持管理等を適切に実施する。	予算を適切に確保する。	5 文化資産の保存及び活用		
			②	-	-	-	-	-					史跡についての県内外に情報発信し、郷土学習の場として利用促進を図る。	県内の小中学校・高等学校等だけでなく、県外の小学校等への情報提供とともに、生涯学習の場としても発信していく。			
	11 上野国分寺跡保護管理運営	文化財保護課	① 見学者数	人	10,000	19,708	C 成果が認められる	10,000	8,029	・国分寺歴史講座の開催や発掘調査現地説明会、国分寺まつり等、地域と連携しながら広報・普及活動を実施した結果、見学者数が増加した。 ・郷土学習・生涯学習の場としてしっかり情報発信を継続し、環境整備や維持管理についても地元協力をいただきながら、更なる見学者数の増加に努める。	4 継続	上野国分寺跡の歴史的価値を学校教育や生涯学習等を通して県民に認識してもらい、郷土に対する誇りや愛着の育成を図る。また、県外にも情報発信し、価値を広めるとともに、群馬のイメージアップを図り、地域作りや観光振興につなげる。	史跡の環境整備・維持管理等を適切に実施する。	予算を適切に確保する。	5 文化資産の保存及び活用		
			②	-	-	-	-	-					史跡についての広報・普及を積極的に行い、郷土学習の場として利用促進を図る。	県内の小中学校・高等学校等だけでなく、生涯学習の場としても情報発信していく。			
			③	-	-	-	-	-					国分寺歴史講座の開催や発掘調査現地説明会の実施、また地域行事と連携した活用を図る。	地元支援団体等と協力して、国分寺まつりと連携したイベントを開催する。			
	03 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の保存と活用																
(1)世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の保存と活用／日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」／ぐんま絹遺産の保存と活用																	
	12 世界遺産・ぐんま絹遺産の継承	世界遺産課	① 世界遺産構成資産を複数訪れたことのある県民の割合	%	35	70 (参考値)	C 成果が認められる	40	224,830	世界遺産を将来の世代に確実に引き継ぐため、構成資産で行われた保存修理に対し事業費を補助した。また、整備を進めてきた世界遺産センターの開館が延期となり、今年度はガイドダンス映像等を制作した。	4 継続	世界遺産やぐんま絹遺産の保存整備を進め、その価値を発信し、活用と継承への意識醸成を図る。	世界遺産構成資産・ぐんま絹遺産の価値を知り、愛着を持つ。	世界遺産・ぐんま絹遺産の現地を訪れる。	5 文化資産の保存及び活用	C	
	13 世界遺産・ぐんま絹遺産の普及啓発等	世界遺産課	① ぐんま絹遺産の認知度	%	55	81	C 成果が認められる	60	21,026	解説ボランティア等による年間を通じた普及啓発活動により、今後の保存管理への理解促進や遺産継承への意識の高揚を図った。また、アプリ「きぬめぐり」を活用した世界遺産・日本遺産・ぐんま絹遺産等を巡るスタンプラリーを実施し、周遊促進を図った。	4 継続	市町村、民間企業、民間団体と協働した世界遺産・ぐんま絹遺産の活用・発信により、全県に広がるぐんま絹遺産への関心を高め、地域活性化を図る。	世界遺産・ぐんま絹遺産の関心を深め、イベント等に参加する。	世界遺産・ぐんま絹遺産に係る民間企業・団体と連携した普及イベント開催、民間団体の活動支援等を行う。	6 情報の発信及び文化交流の促進		

魅せる群馬の文化発信プランー第2次群馬県文化振興指針ー2018年度～2022年度 評価シート一覧

プロジェクト名	主な事業	所属	成果(結果)を示す目標・指標	単位	2018目標	2018実績	担当課評価	2019目標	2018決算額(千円)	2018事業結果	来年度事業評価	事業の目標	事業のアウトカム(成果)	事業のアウトプット(結果)	基本理念	審議会評価	審議会意見
<b>04 県民芸術祭の充実と展開</b>																	
<b>(1)次代を担う人材の発掘・育成/メディア芸術の充実と展開/県民芸術祭の充実と展開</b>																	
14	県民芸術祭の開催	文化振興課	① 県民芸術祭及び市町村等主催の各種文化行事への参加者	人	410,000	389,000	C 成果が認められる	420,000	46,716	県展(美術・書道・写真・華道・大茶会)、県文学賞、GUNMAマンガアニメフェスタ、県民音楽のひろば、小中学校伝統芸能教室等を開催した。今後の課題としては、2020年春オープンするGメッセ群馬の優れた立地条件とこれまで本県になかった機能を活用することで、県民芸術祭の新たな可能性を探る。	5 継続(見直しあり)	優れた文化芸術鑑賞の機会を提供するとともに、県民参加による文化芸術の制作事業等を通して、本県文化の担い手育成や子どもたちの豊かな心を育み、併せて個性豊かな新しい県民文化の育成・創造を目指す。	県民芸術祭及び市町村等主催の各種文化行事への参加者数の増加	次世代の担い手である子どもたちが、文化芸術活動に親しみきっかけづくりを行う。また、県民が日頃の創作活動の成果を発表する機会の提供	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備	C	
			② 県民芸術祭参加者数	人	196,000	205,974	B 成果がかなり認められる	204,000					県民芸術祭のすそ野を広げ、充実を図る。	新たな創造活動を促す取組を推進する。			
<b>05 県立文化施設等の発信力強化</b>																	
<b>(1)県立美術館・博物館</b>																	
15	近代美術館	文化振興課	① 入館者数	人	100,000	97,557	C 成果が認められる	100,000	199,315	・企画展は、生誕150年 湯浅一郎、ウィリアム・モリスと英国の壁紙展、サラ・ベルナル展、群馬青年ビエンナーレの4本を開催した。 ・コレクション展示では、所蔵作品の展示替(概ね2月に1度、山種記念館は概ね1月に1度)を行った。 ・教育普及活動では、41校の学校を受け入れるとともに、子どもアートツアー、作品解説会、こども+大人夏の美術館、美術館アートまつりなどを行った。 ・フェイスブック、ホームページをはじめ、美術館ニュースの発行などにより情報発信を行った。 ・将来の作品収集や企画展につなげるため、研究紀要ー第10号ーを発行した。	4 継続	所蔵している本県ゆかりの作家たちの作品、国内外の近・現代美術、日本画などのコレクション展示や、優れた美術の鑑賞機会を提供する企画展、若い作家のための公募展の開催、作品解説・講演会、子供向けワークショップをはじめとした教育普及事業など、様々な活動により、県の美術振興を推進する。	企画展の質の向上及び入館者数の維持	様々な地域と時代の美術に触れる魅力的な企画展・メリアリのあるコレクション展示の開催	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備	B	
			② 教育普及事業参加者数	人	12,000	15,865	A 成果が大いに認められる	12,000					教育普及事業の質の向上及び参加者数の維持	美術の楽しさを感じる普及事業の充実・学校教育との連携強化			
			③ 来館者満足度	%	90	94	B 成果がかなり認められる	90					来館者の満足度の水準確保	調査研究の成果を活かした展示・教育普及をはじめとする各種事業の実施			
16	館林美術館	文化振興課	① 入館者数	人	55,000	51,298	C 成果が認められる	55,000	164,274	・工夫を凝らした年4回の企画展の開催、並びに各企画展に関連した講演会・アーティストトーク・各種イベント等を開催した。なお、SNSやインターネット等を通じた情報の積極的なPR等により入館者数の確保に努めた。 ・作品解説会・ワークショップ等の開催、学校訪問授業、宿題相談室やコンサート等学校教育連携事業の開催、その他周辺地域との連携事業等の実施など、積極的に取り組んだ。今後も地域に開かれた美術館としての役割を果たしていくこととする。	4 継続	東毛地域において、より多くの県民に美術作品鑑賞の機会を提供し、美術振興をより一層推進する。	年間入館者数の向上	質と内容の充実を備えた魅力的な企画展の開催、また民間企業との共催や巡回展の誘致	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備	B	
			② 参加者数(「上記①」の内数)	人	6,000	6,126	C 成果が認められる	6,000					教育普及参加者数の向上	教育普及事業の充実・学校教育連携及び地域連携の強化			
			③ 入館者満足度	%	80.0	99.0	B 成果がかなり認められる	80.0					将来の企画展示に結びつく調査研究の実施による入館者満足度の向上	前年度までの調査研究の成果を活かした企画展示の開催による入館者満足度の水準確保			
17	歴史博物館	文化振興課	① 入館者数	人	100,000	88,636	C 成果が認められる	100,000	174,156	平成29年7月グランドオープンし、今年度は通年開館を迎え、3回の企画展と特別収蔵品展、4回のテーマ展示を実施した。また、土日祝日等には、歴史体験学習ができるワークショップの開催や学校団体の展示・体験学習を実施した。目標達成に向け工夫を重ね、2019年度は開館40周年各種事業を実施する。	3 拡充	群馬県地域の歴史の変遷と発展に関する資料を収集し、保管し、展示して、県民の利用に供し、その教養・調査研究に資するために必要な事業を行い、もって、教育・学術及び文化の発展に寄与する。	入館者数の向上	民間企業との共催や巡回展の誘致も含めたメリアリのある魅力的な企画展の開催	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備	B	
			② 教育普及事業参加者数	人	40,000	29,318	C 成果が認められる	40,000					教育普及参加者数の向上	教育普及事業の充実・学校教育連携の強化			
			③ 来館者満足度	%	95	95	B 成果がかなり認められる	95					来館者満足度の向上	調査研究の成果を活かした展示の実施による入館者満足度の水準確保			

魅せる群馬の文化発信プランー第2次群馬県文化振興指針ー2018年度～2022年度 評価シート一覧

プロジェクト名	主な事業	所属	成果(結果)を示す目標・指標	単位	2018目標	2018実績	担当課評価	2019目標	2018決算額(千円)	2018事業結果	来年度事業評価	事業の目標	事業のアウトカム(成果)	事業のアウトプット(結果)	基本理念	審議会評価	審議会意見	
	18 自然史博物館	文化振興課	① 入館者数	人	250,000	284,754	A 成果が大いに認められる	250,000	241,395	年3回の企画展を行うとともに、群馬県内自然史の調査研究を行い広く県民に公開します。また、各世代に応じた講座や観察会など各種普及事業や人材育成にも取り組んでいます。事業実施回数及び参加者も多く、限られた人員で対応のため職員の負担軽減が課題である。	4 継続	来館者が参加体験をとおして楽しみながら自然を愛する心を育て、人と自然との関わりを理解し自然に親しむきっかけとなる。	入館者数の向上	民間企業との共催や巡回展の誘致も含めたメリハリのある魅力的な企画展の開催	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備			
			② 教育普及事業参加者数	人	55,000	64,715	B 成果がかなり認められる	55,000					教育普及参加者数の向上	教育普及事業の充実・学校教育連携の強化				
			③ 来館者満足度	%	95	99	B 成果がかなり認められる	95					来館者満足度の向上	調査研究の成果を活かした展示の実施による入館者満足度の水準確保				
	19 土屋文明記念文学館	文化振興課	① 入館者数	人	35,000	39,394	B 成果がかなり認められる	35,000	19,000	69,976	・第100～103回企画展(年間計4回)を開催した。 ・特に、第101回 金子みすゞ展は、当館が開館した48年以來のこれまでの企画展中、第3位の来館者数を記録し、観覧者数増に大きく貢献した。 ・今後も、更なる増加を目指し、来館者の視点に立って、魅力的な内容の展示を企画、実施していく。	4 継続	本県にゆかりのある文学者及び文学の魅力を県内外に発信し、文学に親しんでいただけるよう、毎年4回の魅力ある企画展を開催するとともに、記念講演等、様々な関連イベントを実施している。	入館者数の向上	民間企業との共催や巡回展の誘致も含めたメリハリのある魅力的な企画展の開催	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備		
			② 教育普及事業参加者数	人	19,000	18,888	C 成果が認められる	19,000						教育普及参加者数の向上	教育普及事業の充実・学校教育連携の強化			
			③ 来館者満足度	%	95	95	B 成果がかなり認められる	95						来館者満足度の向上	調査研究の成果を活かした展示の実施による入館者満足度の水準確保			
	20 県民会館運営	文化振興課	① 施設利用者数	人	300,000	317,629	B 成果がかなり認められる	300,000	57.0	123,800	積極的な情報発信を行い、成果目標を上回る実績を得た。また「お客様懇談会」等により利用者からの要望を収集し、サービス向上に役立てた。施設の維持管理は適切に行い、利用者に安全・快適な環境を提供した。自主事業も多種多様な取組を積極的に実施し、県の文化振興に貢献した。今後の課題は、継続的な利用者確保のほか、老朽化した施設の安全管理、駐車場対策による利便性向上である。	4 継続	群馬県民会館は、県民への優れた芸術を鑑賞する機会の提供と個性豊かな群馬の文化づくりをとおして、県民の創造的な文化活動を支援し、群馬県の文化の発展と明るく潤いと活力に満ちた県民生活の実現に寄与するために設置している。また、同施設の管理業務を効果的かつ効率的に行うため、指定管理者制度を導入している。	施設利用者数の増加	各種広告媒体を利用した広報の実施	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備		
			② 施設稼働率	%	57.0	60.0	B 成果がかなり認められる	57.0						施設稼働率の向上	プロモーター等に対する利用促進の働きかけ			
			③ 利用者満足度(「やや良い」以上の割合)	%	70.0	87.8	A 成果が大いに認められる	70.0						利用者満足度の向上	利用者満足度調査の実施、結果の分析及び施設管理や事業への反映			

魅せる群馬の文化発信プランー第2次群馬県文化振興指針ー2018年度～2022年度 評価シート一覧

プロジェクト名	主な事業	所属	成果(結果)を示す目標・指標	単位	2018目標	2018実績	担当課評価	2019目標	2018決算額(千円)	2018事業結果	来年度事業評価	事業の目標	事業のアウトカム(成果)	事業のアウトプット(結果)	基本理念	審議会評価	審議会意見				
<b>06 文化を活かした地域づくり</b>																					
<b>(1) 伝統文化を活かした地域づくり</b>																					
21	伝統文化継承事業	文化振興課	① 「群馬のふるさと伝統文化」支援事業補助金の採択件数	件	40	43	C 成果が認められる	40	6,134	・地域の伝統文化を守り、伝え、育てていこうとする継承活動を行っている県内団体に支援した。 ・45件の応募があり、43件を補助事業として採択。補助金確定額は6,134千円。 ・25件が新規採択であり、今後も幅広い需要に応えられるよう効果的な周知に努める。	4 継続	各地域固有の伝統文化(民謡・民舞、神楽、歌舞伎、人形芝居、祭り囃子その他の伝統芸能及び地域の年中行事等)の適切な保存、継承及び発展を図り、伝統文化を通じて住民同士が交流を深めることで、地域の活性化につなげる。	担い手の高齢化や道具の老朽化等、活動の継続を難しくしている環境の改善	「群馬のふるさと伝統文化」支援事業補助金の実施	5 文化資産の保存及び活用	C	・いい文化資源があるので、発信力、PRを真剣に考えてほしい。 ・神社建築や東国文化などを首都圏の人に向けて発信、PRしていきたい。 ・伝統文化などを知っているという認知度が高いということだけで喜んでいてはためである。地域の人がどれだけ知っているのか、内容を知り、地域が活用できるようにしなければならない。 ・上三原田歌舞伎舞台のように、地域力があるところは、公的に支える仕組みも整えば残ると思う。官と民の役割分担や仕組みが各地域できると、発信力にもつながる。 ・伝統文化等の存続は、目的ではなく手段である。県民が心豊かに暮らしてゆくためのものだから、補助金を出して終わりではない。 ・地域の活性化は、補助金を出すというだけでなく、県、市町村と地元が一体となって取り組むべきである。 ・魅せる群馬の文化応援事業は、2年間限定の事業であるが、採択事業が非常によいもので地域の力をつけるものである。この枠を群馬の文化支援事業に残せないか検討してほしい。				
			② 県内伝統文化の継承件数	件	620	571	C 成果が認められる	620										県内伝統文化の継承件数の維持	伝統文化継承モデル事業の開催		
<b>(2) 「群馬の文化」を活かした地域づくり</b>																					
22	文化づくり支援事業	文化振興課	① 「群馬の文化」支援事業補助金採択件数	件	20	14	C 成果が認められる	20	4,652	・「群馬の文化」支援事業補助金について、17件の応募があり、文化づくり支援事業及び群馬の文化応援事業評価委員会の審査を経て14件(文化力向上事業11件、次世代育成事業3件)を採択し、「群馬の文化」の形成につながる地域での多様で創造性豊かな文化活動を支援した。 ・地域の文化資産を活かした観光・地域振興につながる取組となる文化資産発掘・活用事業の応募がなかったが、今後も文化団体が広く活用できる制度となるよう周知を図る。	4 継続	多様な創造活動への支援を通じて、文化を活かした個性豊かで活力ある地域づくり、文化力の向上、次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実、地域の文化資産を活かした観光・地域振興	文化団体等が実施する本県の文化力の向上に資する新たな取組や事業を拡大する取組、子どもたちが多彩な優れた芸術に親しむ機会を充実させる取組、地域の文化資産を活かした観光・地域振興につながる取組の支援	「群馬の文化」支援事業補助金による支援	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備 3 県民の文化活動への支援体制の充実 4 文化の継承及び発展を担う人材・団体の育成 5 文化資産の保存及び活用	C					
			② 「群馬の文化」支援事業補助金交付額	千円	—	4,482	—														
23	魅せる群馬の文化応援事業	文化振興課	① 魅せる群馬の文化応援事業補助金交付件数	件	4	4	C 成果が認められる	4	4,662	・魅せる群馬の文化応援事業補助金について、4件の応募があり、文化づくり支援事業及び群馬の文化応援事業評価委員会の審査を経て4件を採択し、地域の文化を磨き上げ、県内外に本県特有の文化の魅力発信し、人を呼び込むことにつながる事業を支援した。 ・2年間限定の補助であるため、来年度も支援し、引き続き地域の魅力発信し、交流人口の拡大を図る事業の土台づくりをする必要がある。	4 継続	地域の文化資産を活用して本県特有の文化の魅力を県内外に発信し、交流人口の拡大を図る。	地域の文化を磨き上げ、県内外に本県特有の文化の魅力発信し、人を呼び込み、レガシーと成り得るものであり、かつ、継続性がある大規模な事業展開が見込める事業への支援	魅せる群馬の文化応援事業補助金による支援	5 文化資産の保存及び活用	C					
			② 魅せる群馬の文化応援事業補助金交付額	千円	—	4,662	—														
<b>07 文化活動における多様な参画の促進</b>																					
<b>(1) 障害のある人の参画の促進/高齢者の参画の促進/外国人の参画の促進</b>																					
24	障害者週間記念行事/精神障害者社会参加推進事業	障害政策課	① 「障害者作品展」への出品数	点	320	247	C 成果が認められる	320	572	障害者作品展を平成30年12月6日(木)から12月10日(月)までの5日間の日程で開催した。また、こころのふれあいバザー展を平成30年9月1日(土)に開催した。今後はより多くの方に参加いただけるよう周知方法を検討する。	4 継続	障害のある人が文化活動を通じてそれぞれの個性を発揮し、社会への参加や自己実現につなげていける環境づくり	障害のある人に対する県民の理解と認識を深める。	障害者作品展の開催 こころのふれあいバザー展の開催	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備	C					
			②																		
25	高齢者の文化活動の充実	介護高齢課	①	—	—	—	C 成果が認められる	—	—	H30.11.16 第44回群馬県老人クラブ連合会芸能発表大会 開催 ときめきフェスティバル来場者数 H31.3.16 総合開会式 1200人 H31.3.17 ときめき短歌大会 150人 H31.3.16~H31.3.19 ときめき美術展 1789人	4 継続	ぐんまときめきフェスティバルや群馬県老人クラブ大会といった文化活動等の発表の場を設けることにより、高齢者の生きがいと健康づくりを推進する。	県老人クラブ大会への出場を楽しみのひとつとして、地域での文化活動等を行う。	群馬県老人クラブ連合会と連携し、大会を適切に開催	2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる環境の整備	C	・いろいろな世代が活躍できるよう工夫が必要である。 ・高齢者の文化活動は、健康寿命を延ばす大事なものである。具体的な企画をもっと考えていただきたい。 ・医療通訳ボランティアは、負担も大きく、質の充実が求められるので、安全に気持ちよく活動できるよう支援していただきたい。				
			② ときめきフェスティバル来場者数	人	—	3,139	C 成果が認められる	—													
26	外国人の参画の促進	外国人活躍推進課	① 医療通訳ボランティア養成件数	件	15	27	C 成果が認められる	15	7,103	・医療通訳ボランティアを養成し、派遣を行った。 ・多言語インフォメーションセンターで、外国人相談を実施した。(県は人件費を補助) ・相談体制の充実に向け、県が相談窓口を設置することを検討 ・災害時の外国人住民支援のための訓練を実施した。	5 継続(見直しあり)	外国人住民の自立と社会参画を進めるための環境を整備する	外国人住民の受診環境の整備	医療通訳ボランティアの養成及び派遣	6 情報の発信及び文化交流の促進	C					
			② 相談件数	件	100	122	C 成果が認められる	—													
			③ 災害時多言語支援センター設置運営訓練	件	50	65	B 成果がかなり認められる	50													